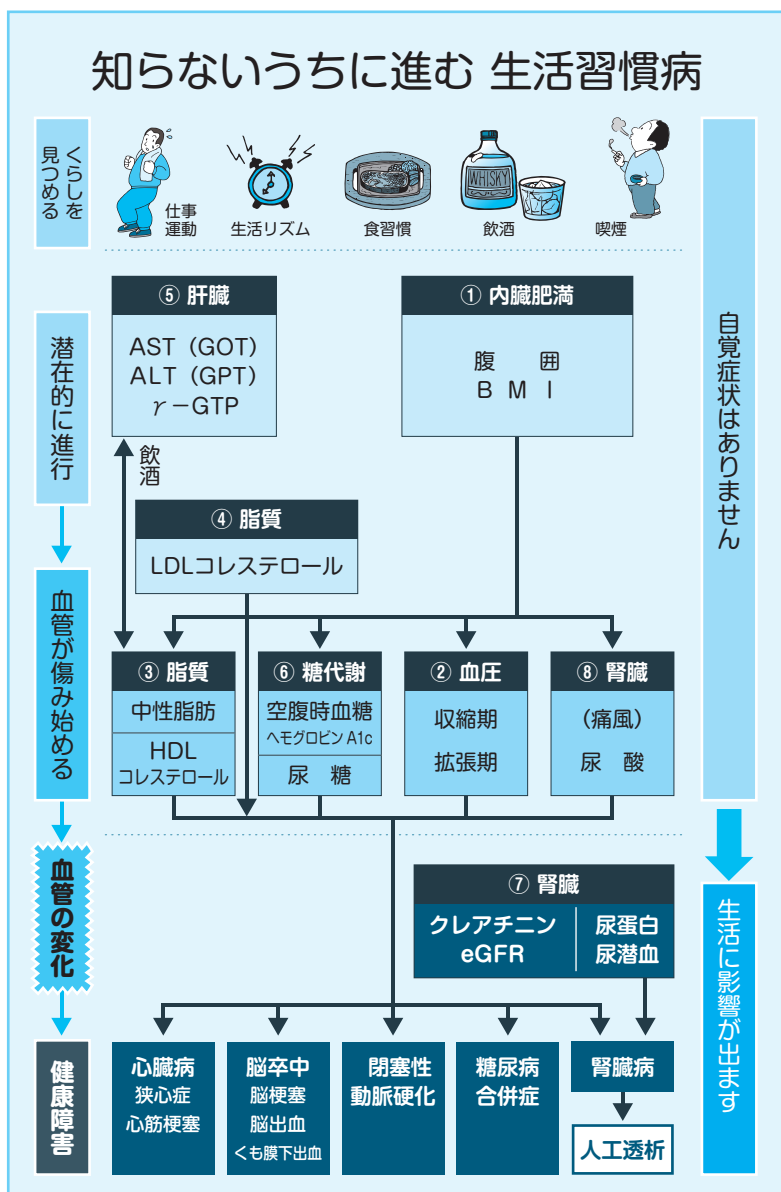


＊がん検診の受診希望は随時受け付けています。どなたでもご連絡ください！



肝、③脂質、⑥糖代謝、⑧腎臓
につながる項目と項目同士が相互に影響しているからです。

検査結果が基準値を超えて、
血管が傷み始めても、ほとんど
自覚症状はありません。分かる
のは、健康障害が起こつてから
です。これらが今はちよつと高
めで、生活習慣の見直しもせず
放つてしまうと今後、『心臓病』

『脳卒中』『閉塞性動脈硬化』『糖
尿病合併症』に向かいます。

**血管が傷み始めることは
生活習慣病を進めている！**

食べたものがアミノ酸とブドウ糖、脂肪に分解されて、肝臓で吸収され、血液中に送られるので、それを採血し、⑥の糖代謝、③の脂質、⑦⑧の腎臓の項目を調べます。

「糖」は、脳が活発に動いために欠かせなく、最初に使われるエネルギー源です。摂りすぎると中性脂肪に変わって身体に蓄えられます。こうなると身体処理ができなくなり、糖が高くなります。

コレステロールと表現される脂質は③と④があり、③にあるHDLコレステロールが善玉、独立して矢印が伸びている④の

LDLコレステロールが悪玉と呼ばれ、多くあると酸化して動脈硬化を進めます。コレステロールは血管を作るのに不可欠で、標準値を保つことが大切です。

⑧の尿酸値が基準を超えると蛋白質の結晶ができます。結晶は、イガ栗のような姿で、そのトゲが血管の壁を傷つけ痛みを感じます。それが痛風と呼ばれる病気です。

⑦のクレアチニンの値で腎臓のろ過機能を知ることができます。腎臓のろ過機能が低下すると普段、尿中に出ない蛋白や血液が出てきます。

健診は今から、今後を見直す機会と、とらえてください。健康に自信がある方も、現在治療中の方も健診は必要です。健診結果に異常があっても怖がらず対処しましょう。そして、通院中の方は、合併症や重症化しないため、主治医の指示に従い、定期受診で悪化防止に努めましょう。

■問い合わせ
福祉健康課 健康増進係
☎ 75-33355

毎週月曜日は健康相談日です

市民みなさんのための健康相談窓口です。妊産婦、乳幼児から大人まですべての方の健康に関する相談に応じ、今回の内容も健診結果をご持参いただければ詳しく、やさしく丁寧に説明します。場所は、市役所1階の健康増進係窓口。時間は、13時～16時までです。

また、メールでの相談も受け付けていますので、お困りのことがあればご相談ください。多久市のホームページからご利用いただけます。

E-mail : kenkozoshin@city.taku.lg.jp

からウロコの話が聞けた」や「手厚いご指導があったい」と話され、いち早く生活習慣の改善や早期治療に取り組まれています。

今年も7月9日の西多久公民館を皮切りに、8月30日まで開催するよう計画していますので、健診の際お渡しした日程表で確認してぜひお越しください。